

様々な仏教思想家

2017 年追試

問 3 次のア～ウは、日本の仏教者についての説明である。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。

22

ア 空海は、仏教の多様な教えを、大日如来の教えである顕教と釈迦の教えである密教に分類したうえで、密教こそが人々を悟りに導く究極の教えであると主張した。

イ 蓮如は、平易な和文で『教行信証』を著し、自力の修行ではなく、阿弥陀仏の他力によって極楽往生を遂げるべきだと説く浄土真宗の教えを、人々に広く浸透させた。

ウ 日蓮は、災害の多発する状況は、釈迦の究極の教えである『法華経』が軽視されていることに起因するとして、禅や念仏を厳しく排斥し、『法華経』に帰依すべきだと主張した。

- | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | ア | 正 | イ | 正 | ウ | 正 |
| ② | ア | 正 | イ | 正 | ウ | 誤 |
| ③ | ア | 正 | イ | 誤 | ウ | 正 |
| ④ | ア | 正 | イ | 誤 | ウ | 誤 |
| ⑤ | ア | 誤 | イ | 正 | ウ | 正 |
| ⑥ | ア | 誤 | イ | 正 | ウ | 誤 |
| ⑦ | ア | 誤 | イ | 誤 | ウ | 正 |
| ⑧ | ア | 誤 | イ | 誤 | ウ | 誤 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第3問	問3	22	⑦	3

2014 年本試

問 6 下線部 f に関して、次のア～ウは、人間として望ましい行いについて説いた江戸時代の思想家の説明であるが、それぞれ誰のことか。その組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 25

ア 徳川方の武士として軍功をたて、後に禅僧となった。武士・農民・職人・商人のいずれも、自らの生業を通じて仏と成ることができると説き、商人は、売買の営みを、天道から与えられた役目として受けとめ、正直を旨として商いに励むべきであると述べた。

イ 中江藤樹のもとで儒学を学んだ。そして、「治国平天下」という儒学の理念を、現実との関わりのなかで考え、例えば、樹木を切り尽くすと山の保水力が乏しくなり水害が起こりやすくなるので、山林を保護すべきであると主張した。

ウ 独学で、神道・仏教・儒教を学び、自らの商人としての体験を踏まえ、人の道について考察した。儉約と正直に基づいた、商いによる利益の追求を、天理にかなう正当な行為であるとし、儉約と正直という徳は、すべての人が守るべき道であると説いた。

- | | | | | | | |
|---|---|------|---|------|---|------|
| ① | ア | 石田梅岩 | イ | 熊沢蕃山 | ウ | 鈴木正三 |
| ② | ア | 石田梅岩 | イ | 鈴木正三 | ウ | 熊沢蕃山 |
| ③ | ア | 熊沢蕃山 | イ | 石田梅岩 | ウ | 鈴木正三 |
| ④ | ア | 熊沢蕃山 | イ | 鈴木正三 | ウ | 石田梅岩 |
| ⑤ | ア | 鈴木正三 | イ | 石田梅岩 | ウ | 熊沢蕃山 |
| ⑥ | ア | 鈴木正三 | イ | 熊沢蕃山 | ウ | 石田梅岩 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 6	25	⑥	3

2011 年追試

問 1 文章中の 13 に入る語句として正しいものを、次のそれぞれの①～④のうちから一つ選べ。

近世になると、働くことはそれ自体として肯定されてゆく。鈴木正三は、『13』で、士農工商のあらゆる「渡世の業」も、正直に専心すれば仏道修行となり天道に守護されて成仏できると説き、人々をその罪業感から解放した。

- 13 {
- ① 万民徳用
 - ② 翁問答
 - ③ 自然真営道
 - ④ 養生訓

問 3 蓮如は、法然や親鸞に連なる教えを説いたが、彼はどういう人々が救済されるとしたか。最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① 阿弥陀如来の他力救済を得るために、寺院や僧へ金品を布施する善男善女
- ② 阿弥陀仏の救いを求めて、平生を常に臨終の時と心得て踊り念仏する凡夫
- ③ 阿弥陀如来の本願を一心に信じて、ただひたすらにその名号を ^{とな}称える凡夫
- ④ 阿弥陀仏の本願による救いを求め、ただひたすらに難行に努める善男善女

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 1	13	①	2
第 3 問	問 3	16	③	2